

1 学校教育目標

『かしこく やさしく しなやかな 栗島の子』

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力向上に取り組む学校 	・児童に寄り添う学校 	・体力向上に取り組む学校 
○児童・生徒像	・かしこい子 	 ・やさしい子 	・しなやかな子 
○教師像	・自己研鑽する教師 	・児童に寄り添う教師 	・児童と共に汗を流す教師 

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

全学年2クラスの12学級とコミュニケーションの教室「スマイル教室」の編成で、児童数312名でのスタートである。昨年度までに校舎内と教室の改修、校庭の人工芝化が完了し、快適な生活環境となった。校庭や学年花壇には、どんぐりなど実のなる木々や草花、野菜が植えられ、ビオトープやミニ水田、スマイル農園を併設し、季節の移り変わりを実感できる。また、校庭にオナガ、ムクドリ、ヒヨドリ等の野鳥も飛来し、児童を楽しませている。

全教職員が学校経営計画に基づき、組織的に指導や取組を行っている。毎月の「詩の暗唱」や生活規律の「み・そ・あ・じ」は、全校児童に定着している。「自ら進んで挨拶」に関しては、さらに充実させたい。6年生による全校朝会の代表挨拶は、最上級生としての誇りと責任感を高め、学校の機動力となっている。学習指導においては、ICT機器やAIドリルを活用し、個に応じた授業改善や家庭学習の充実を行う。

学校全体の学習・生活環境を整え、教科や行事、体験活動を充実させて楽しい学校づくりを進める。地域や家庭との連携を図り、地域を愛し、地域に愛され、地域に根ざした学校を目指す。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな体の育成	○		○	○	○

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
授業力と基礎学力の向上		8 0 %		8 4 . 8 %		第 2 学年「平面図形」が全国値比-5.7 図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察する力の育成が課題		○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象・ 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継	A I ド リ ル の 活用	全学年・ 5 教科	通年	A I ドリル（個別最適な学 び）の家庭学習の充実	家 庭 学 習 の 提 出	提出率 9 0 %以上	1 2 月 MAU 9 7 % WAU 7 7 % DAU 3 6 %	活用は毎月 9 5 %以 上、解答数をいかに 増加させるかが課題	○
2 継	I C T 活用	全学年・ 5 教科	毎日	① I C T活用の授業実施 ② 児童のタブレット活用	週案、授業観 察による確認	毎日の活用	全ての教員・児童が ほぼ毎時間活用して いる。	振り返りでのスプレ ッドシートの活用促 進が課題	○
3 継	朝学習	全学年 国語(漢字) 算数(計算)	火(漢字) 水(計算) 金(詩文、 百人一首)	【体制】担任 【教材】新出漢字 計算 詩の暗唱	ワークテスト 新出漢字計算 詩の検定	取組内容の 8 0 %定着が 8 0 %以上	計画どおり実施 領域 1 「数と計算」 は全国値比＋ 7 以上	百人一首の全校取組 は廃止	○
4 継	補習 指導	国語・算数	水曜日の 放課後	【体制】担任、副担任(専科) M I M、ワークテスト	ベーシック テスト	取組内容の 8 0 %定着が 8 0 %以上	計画どおり実施 途中から理解の穴を 埋める方法に変更	弱点領域をさかのぼ っての計画が課題	○
5 継	夏 休 み 補 充 教 室	全学年 国語・算数	夏季休業 1 0 日	【体制】担任オンライン実施 【目的】夏休み前の復習 【教材】キュビナ	参加状況	参加率 8 0 %	対面での実施 A I ドリルを活用し た 2 対 1 形式	復習形式から弱点領 域に的を絞る方法へ の転換	○
6 継	学 力 向 上 そ だ ち 指 導	低学年 中学年 国語・算数	通年	【目的】つまずき内容の解消 【教材】プリント等を利用し た補充学習	卒業試験 校内委員会	対 象 児 童 ご と の達成基準	計画どおり実施 卒業児童も多数	指導員の高齢化 R 7 は指導員不在	○

7 継	教員の 授業力 向上	全教員	通年	若手教員 研修授業 10 回 OJT 小中連携 7 回 全教員の研究会等参観	習熟度に応じ た研究授業と アンケート	授業観察 ・肯定的評価 8 割	略案作成→授業実践 →事後指導のサイク ルがルーティン化	対象者の選定基準の 明確化	○
--------	------------------	-----	----	---	---------------------------	-----------------------	------------------------------------	------------------	---

重点的な取組事項－ 2		豊かな人間性の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己有用感を高める		肯定的評価 8 0 % 以上	肯定的評価 約 8 3 %	スマホの使用や家庭学習の確実な実施等、家庭との連携強化が課題	◎
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
みそあじの徹底	みそあじを実行できた 肯定的評価を児童アンケートで 8 0 % 以上	身だしなみ、掃除、挨拶、時間を守る項目について全校統一して指導をする。	みそあじに気を付けて生活した→ 8 7 % が「はい」	自治的な活動への転換が課題	◎
特別活動の充実	学校が楽しいと肯定的評価 8 0 % 以上	行事や学級会、係活動、委員会やクラブ活動の充実 スマイル農園との交流	学校が楽しい→ 9 1 % が「はい」	児童の意見を反映した行事や活動の設定 9 % の「いいえ」の分析	◎
読書活動の推進	年間読書活動 全校で 2 万冊	読書旬間 読み聞かせ 課題図書の紹介 お話会の実施 ブックトークやアニマシオン	1 2 月末時点で約 1 万 1 0 0 冊の貸し出し	学校図書館を活用した授業の充実 週 1 回の読書の時間のめあての明確化	○
安心で安全な学校作り	いじめの解決 1 0 0 %	複数の目で把握し未然防止。 WEBQU 結果のコンサルテーションの実施。 校内委員会 SC・SSW の活用	重大事態への発展事案 0 件 早期発見と組織的対応（校内委員会の定期的な開催）	発達支持的生活指導への教員の意識改革	◎

重点的な取組事項－３		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上		東京都体力調査 都の平均比較 ８０％以上	男子は、総合評価 D 層 E 層が都の分布に比べかなり多い 女子は、A 層が多い	学校での教育活動全体を活用した持久力の強化が課題	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上	外遊びの励行 ９割	担任と共に休み時間は外でドッジボールや鬼ごっこ等のクラス遊びを行う。	中休み昼休みは、ほぼ全員が外遊びを行っている。	夏季の体力向上方法の確立が課題（外遊び×、水泳×）	◎
体育授業の向上	O J T 研修 ５回	年間指導計画、体育環境整備実技研修（集団行動・表現・水泳指導 縄跳び・体力調査）	体育主任を講師にマット運動、跳び箱、水泳の実技研修を実施	体育館での体育の安全性の向上	○
朝会、集会の充実	短縄跳び週間 ２回 長縄跳び記録会 １０回	季節に応じた朝会や集会	計画どおり実施	来年度も今年度同様に実施	○

６ まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

- ＜成果＞・生活や授業の規律が保たれ、一斉指導による基礎学力の定着を図ることができた。
 ＜課題＞・学習者用端末を効果的に活用して個別最適な学びを促進するための授業改善を図る。

（２）保護者や地域へのメッセージ

学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 学校が全ての子供たちにとって楽しい居場所・豊かな学び場になるよう、教職員一同、引き続き一生懸命、教育活動に取り組んでまいります。
 ご支援やご助言を賜れますと幸いです。